

ベントゾン液剤 大豆バサグラン液剤（ナトリウム塩）	取扱メーカー： 協友アグリ，BASF，北興， 住友化学 原体メーカー： BASF
成分： ベントゾンナトリウム塩〔ダイアジン系〕………40.0%	性状： 赤色澄明水溶性液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】 ……………

- だいず生育期（だいず2葉期から開花前まで）に使用できる。
- 水田転作で問題になっているアメリカセンダングサ，タデ類を始め広範囲の畑地広葉雑草に高い効果を発揮する。
- 雑草の発生初期～6葉期まで使用でき，処理適期幅が広い。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 土壌処理剤との体系で使用することで，対象雑草の生育ステージが揃い易くなり，除草効果が安定する。
- 気象条件を考慮して使用する。一般に低温・曇天時には活性が低く，高温・晴天時には高くなる傾向があるので，葉害を回避する場合は前者で，効果発揮を重視する場合は後者の条件で処理する。また，降雨が予想される場合には散布をさける。
- 雑草の所定葉期を越えると効果が劣り，使用時期が早いと後次発生の雑草を抑えることができないので，雑草の3～6葉期までに使用する。
- だいずの葉に隠れている雑草にも，直接かかるように散布する。
- イネ科雑草には効果がないので，イネ科雑草の優占圃場での使用はさける。また，イネ科雑草が混在する場合には，イネ科雑草に有効な除草剤との体系で使用する。
- アカザ科，ヒユ科雑草には低葉量では効果が劣るので，これら雑草の優占圃場では畦間雑草茎葉散布で使用する。
- トウダイグサ科の雑草には効果が劣るので，本種の優占圃場では使用しない。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- だいずの品種によっては薬害により減収する場合があるので，使用に当っては病虫害防除所等関係指導機関の指導を必ず受ける。
- 雑草茎葉にかかるよう，まきムラのないように均一に散布すること。
- 本剤の使用により，だいずの葉に斑点，色抜け，黄変，縮葉症状等の一過性の薬害を生じる。また，薬害の程度及び薬害の回復は品種により異なり，減収する場合もあるので，使用者の責任において事前に使用品種における薬害の程度を十分確認してから使用する。
- 新2号，操，山白玉では，強い薬害が発生するので使用はさける。
- 次の品種では本剤の使用により減収した事例が報告されている。
 - タチユタカ，ゆめみのり，オオツル，オクシロメ，コケシジロ，コスズ，すずおとめ，すずこまち，タマホマレ，トヨコマチ，トヨハルカ，トヨムスメ，ナカセンナリ，納豆小粒，ナンブシロメ，フクシロメ，ユウヅル，ユキホマレ，ワセシロゲ
- 薬害を助長するので重複散布はしない。また，以下の場合には薬害が助長されるので使用をさける。
 - 著しい高温が続く場合
 - 日射が強く，蒸散が盛んな場合
 - 低温，湿害，肥料不足等によりだいずの生育が不良の場合
- 散布後，曇天，降雨日が続くと効果が劣ることがあるので留意する。
- 周辺作物にかからないように注意する。
- えだめには使用しない。

【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用 方法	ベンタゾンを含む 農業の総使用回数
			薬量	希釈水量			
だいず	一年生雑草 (イネ科を除く)	だいずの2葉期～ 開花前 (雑草の生育初期 ～6葉期) 但し、 収穫45日前まで	100～ 150 ml	100 ℓ	1 回	雑草 茎葉 散布 又は 全面 散布	2 回以内 (畦間処理は 1 回以内)
		だいずの生育期 (雑草の生育初期 ～6葉期) 但し、 収穫45日前まで	300～ 500 ml			畦間 雑草 茎葉 散布	